

宮城県中学校総合体育大会軟式野球競技 競技上の注意事項

- 1 選手の頭髪・身なり等は中学生らしく、試合中はもちろんのことスポーツマンらしい態度で大会に参加すること。
- 2 応援については、監督が責任をもつ。
- 3 応援は次のことを守って応援すること。
 - (1) 応援はあくまで自チームの応援であって、野次など相手チームや選手が不快な思いをいだくような言動は禁止する。
 - (2) スタンドでのまとまった応援は、ベンチよりも外野側または指定された場所で行う。
 - (3) 太鼓等の鳴り物やブラスバンドの応援を認めるが、自チームが攻撃している場面での応援とする。自チームが守備側のときは座っていることが望ましい。応援の切り替えは3アウト成立時とする。
 - (4) 紙吹雪・紙テープ・個人名を書いたのぼりを使うことは禁止する。
 - (5) 応援席を散らかさず、ゴミは持ち帰り、美化に心がける。
 - (6) 試合を妨害するような応援はしない。
 - (7) メガホンを使用してもよい。
 - (8) 笛（ホイッスル）は使用してもよいが、投手が投球動作に入ると同時に突然使用したり、使用をやめたりするなど投手の投球に影響を与えるような使用は慎む。また、四死球やワイルドピッチ・パスボールなどのときに、笛で盛り上げることをしないようにする。
 - (9) 拡声器や音響機器の使用は禁止する。
- 4 監督等の服装については、次の通りとする。
 - (1) 監督・コーチは選手と同じユニフォームを着用し、監督は30番、コーチは29番、28番の背番号をつける。
 - (2) 監督・コーチではない教員がベンチに入る場合は、平服（白いワイシャツまたはポロシャツが望ましい）に選手と同一の帽子とする。ただし、女性の場合は考慮する。
 - (3) サングラスは使用しない。事情があって使用を希望する場合は、監督会議で許可を得る。
- 5 背番号は、一桁までは原則としてポジションを示す数字であり、全員が続き番号であること。
- 6 試合開始・終了時の礼は両チームが同時に行う。また、相手チームと別に審判員に礼をすることはしない。
- 7 試合終了の挨拶をもって全てを終了とし、速やかにベンチを空ける。ただし、応援席への挨拶は認める。
- 8 試合進行や大会運営の円滑化のため、次のことに留意する。
 - (1) 無用なタイムをとることを慎む。
 - (2) 先頭打者とベースコーチは攻撃前のミーティングには参加せず、駆け足で位置につく。
 - (3) 出塁した際、バッティング手袋をベースコーチに渡さず、自分のユニフォームのポケットの中に入れておく。走塁用手袋に変えるためにタイムをかけ、試合の進行を遅らせてはならない。
- 9 各チームの監督は、試合終了後に大会本部に連絡し、次の試合日程や連絡事項の確認を行うこと。